

「あわぎん地域密着型金融推進計画」の進捗状況
(平成22年4月～23年3月)について

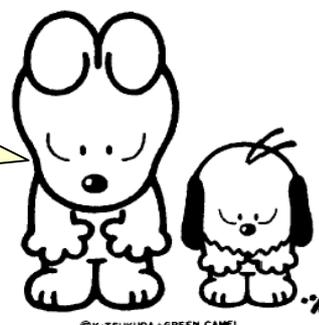
平成23年6月



阿 波 銀 行

平成20年3月に公表いたしました「あわぎん地域密着型金融推進計画」について、その進捗状況をお知らせします。

これからも地域みなさまから「必要とされ、頼りがいのある銀行」となるよう努力してまいります。
引き続き、ご愛顧のほどよろしく申し上げます。



当行では、地域密着型金融の推進を時限的な取組みとするのではなく、恒久的な取組み事項とするため「あわぎん地域密着型金融推進計画」を策定し、従来からの取組みをより強化し、かつ、定着化してまいりました。

計画のなかで定めた推進の基本方針は、以下のとおりです。

当行では、従来からの強みである「中小企業融資」をより強化し、当行の伝統的な営業方針である「永代取引（えいだいとりひき）」の推進を行っていくことが、「地域密着型金融」を推進していくことと同義であると考え、より中小企業融資に特化した態勢を整備し、経営資源の重点的な配分を行ってまいります。

経営方針の一つである「人材の育成」に注力し、「目利き能力」の向上を図り、お客さまの問題解決へのパートナーとなるべく職員の教育に努めてまいります。また、地方公共団体をはじめとした外部との連携を図り、高度化・多様化するお客さまのニーズに対応してまいります。当行に集積する地域の情報を活用し、経営方針の一つである「地域への貢献」を永続的に実践してまいります。

より幅広くお客さまの声をお聞かせいただくことで、多様化するお客さまのニーズの把握に努めるとともに、経営方針の一つである「お客さま第一」を実践するべく、お客さまの声を経営施策に反映させてまいります。

当行は、地域密着型金融の取組み内容を公表するとともに、進捗状況等につきましても公表してまいります。

平成22年度の主な取組み結果は以下のとおりです。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

今年度もお取引先である中小企業等のさまざまな成長段階にあわせた事業支援態勢の強化に取り組めました。単なる金融支援に終始することなく、経営全体にかかる多種多様なお客さまのニーズにお応えできるよう、態勢整備・人材育成に注力しました。

具 体 的 な 取 組 み 結 果

(1) あわぎん・東大阪ものづくり商談会

中小企業にとって、新分野や新規事業への進出、新技術の導入、および新規顧客の開拓は、企業が永続的に発展するために不可欠な取組みです。当行では、ものづくりを支える徳島の中小企業を支援するため、平成22年11月25日に、東大阪商工会議所と共同で、「あわぎん・東大阪ものづくり商談会」を開催しました。

当日は、徳島県の製造業23社、東大阪市の製造業17社が参加し、1社あたり6～8社の企業と個別面談を実施しました。商談ブースにおいて、お互いが用意した製品についてパンフレット等を用いて説明し、自社製品の特徴や技術についてのPRの他、業界動向についての情報交換を行いました。

また、個別商談会終了後には懇親会を行い、参加企業同士の交流を図りました。

この商談会の結果、徳島県と東大阪市の企業の共同開発案件が1件、徳島県の企業にとって東大阪市の企業を外注先とする契約が1件成立しました。

その他にも県内企業にとっては、高い技術力と独自性を持つ東大阪市の企業との商談を通じて、ビジネスチャンスの拡大と、ビジネスネットワークの構築につなげていただくことができました。

当行では、お客さまとの日常的・継続的な接触のなかからニーズを把握することに努め、ライフサイクルに応じた各段階でのきめ細かい事業支援に積極的に取り組んでまいります。



(2) 経営改善支援

中小企業融資は当行のコアビジネスであり、中小企業の資金繰り円滑化への取組みは融資業務における重要課題として積極的に取組んでまいりました。平成21年12月、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」が施行されたことを機に、取引先企業に対する経営改善支援への取組みをさらに強化しました。経営改善計画の策定および進捗状況の管理にあたり、取引先企業との連携を密にし、より実現性の高いものとなるよう、本部・営業店一体となって取組みました。

景気低迷が長引く経済環境のなか、今後も取引先への経営改善支援を強化し、計画の実行を支援してまいります。

なお、経営改善に関する取組み実績は「4.主な数値実績」に記載していません。

2.事業価値を見極める融資手法を始め、中小企業に適した資金供給方法の徹底

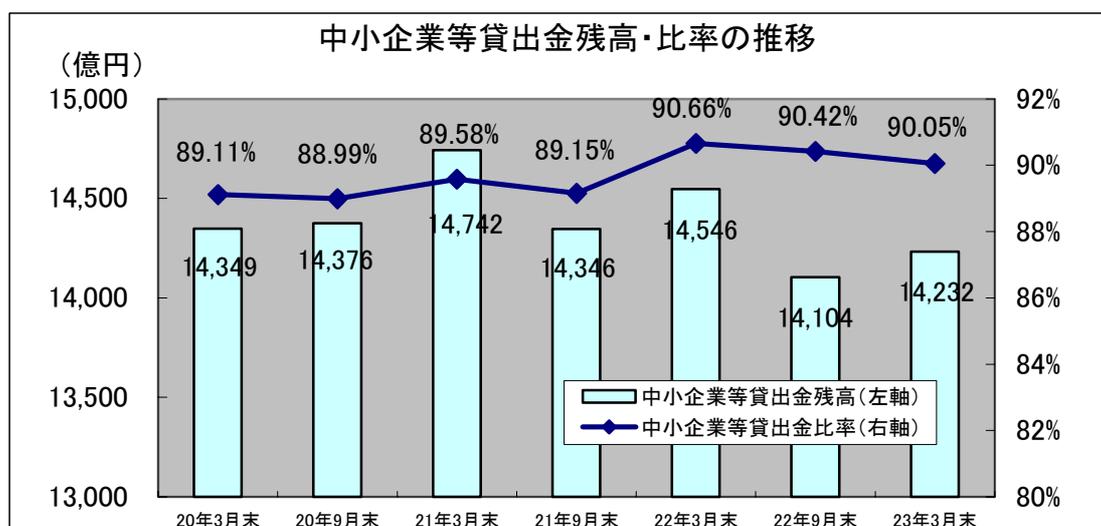
当行にとって中小企業融資はコアビジネスであるとの位置付けを再認識し、お客さまに応じた資金供給方法を徹底し、中小企業向けの融資拡大に取り組んでまいりました。

具体的な取組み結果

(1) 中小企業融資への取組み

引続き、中小企業融資の増強に積極的に取組んだ結果、平成23年3月末の中小企業等貸出金比率は90.05%となり、前年に続き90%以上となりました。

(当行は同比率で85%以上を維持することを目標としています。)



(2)担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

当行は日本銀行が行う成長基盤強化を支援するための資金供給の対象金融機関として参加し、今後、成長が見込まれる分野に取組む法人または個人事業主に対して必要な長期資金の供給により地域経済の成長基盤強化に貢献するため、平成22年7月「あわぎん成長基盤強化ファンド」を新設しました。具体的には、徳島県を挙げて産業集積に取組んでいるLED関連産業をはじめ、医療や介護および農林水産業等、地域の特性を踏まえた6つの成長分野の支援に取り組んでいます。

また、「あわぎん産業ローン（緊急対策）」については、平成23年3月に緊急保証制度が終了しましたが、4月からは商品性を引き継いだ「あわぎん産業ローン（セーフティ）」の取扱いを開始しています。

中小企業の実態や実態を踏まえた柔軟な対応を行うため、既存借入金の貸出条件緩和（一本化）を円滑に行うことができる独自の商品「あわぎん中小企業応援ファンド」とあわせて、お取引先に対し、借入金一本化による積極的な資金繰り改善提案を実践しました。

この他にも不動産担保に限らず、各企業の実態にあわせた最適な資金供給を行うため、売掛債権や在庫といった流動資産を担保とした融資（ABL）にも、積極的に取り組みました。

<取組み実績>	(23年3月末、件数/残高)	
あわぎん成長基盤強化ファンド	594件 /	306億円
（うちLED関連産業	18件 /	42億円）
あわぎん産業ローン（緊急対策）	1,371件 /	223億円
（注）緊急保証制度全体	6,997件 /	1,026億円
あわぎん中小企業応援ファンド	1,720件 /	698億円
流動資産担保融資（ABL）	59件（担保取得件数）	

(3)融資人材開発の強化

行員の融資能力向上のため、平成22年12月より、営業店行員の審査部への中期留学を開始しました。

平成22年度は6名が留学し、それぞれ3週間程度の期間、実際の案件審査等を通じて中小企業融資のノウハウを習得しました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

当行は地域における責任を果たすため、金融サービスの提供だけにとどまらず、「産」「官」「金」の連携の架け橋となり、地域経済の活性化に積極的に取り組みました。

具 体 的 な 取 組 み 結 果

【とくしまマルシェ】

平成21年5月、当行の全額出資により設立した公益財団法人徳島経済研究所が農業法人等の農業関係者、徳島県、徳島市、金融、流通業界などのメンバーによる「農業ビジネス活性化研究会」を立ち上げ、平成22年6月、「徳島県の農業ビジネス活性化構想」を発表しました。この構想の一部を具体化したのが「とくしまマルシェ」（マルシェはフランス語で市場）です。

「とくしまマルシェ」では、徳島産のこだわりの農産物やそれらの加工品を厳選して集め、徳島市中心部の川沿いにある新町川ボードウォークで、ヨーロッパの朝市のようなお洒落で楽しい雰囲気の中、生産者が消費者に直接販売しています。

毎回の目玉企画のほか、音楽の生演奏、野菜ソムリエのトークショー、近隣レストランとの連携など様々な内容が盛り込まれ、情報発信にはブログ・ツイッター、Ustreamによる動画生中継など、ITをフル活用しています。

毎月、最終月曜日に開催され、平成22年12月の第1回には12千人、その後も客足は順調で、多くのお客さまで賑わっています。

このとくしまマルシェは、農業ビジネスの活性化に加え、県外客にたくさん来ていただくことによる観光の活性化、活気の乏しい中心市街地の活性化、という一石三鳥の効果を狙っています。

既に、県外からの各種視察やとくしまマルシェを組み込んだ観光ツアーの企画などの動きが広がっているほか、隣接する中心商店街のアーケードでも毎月同時に徳島B級グルメなど食に関するグルメフェアを開くなど、様々な波及効果が生まれています。

当行は、徳島経済研究所専務理事が委員長を務める「とくしまマルシェ実行支援委員会」でとくしまマルシェの運営をサポートしています。また、売り手として参加する農産物生産者の発掘には、営業本部お客さまサービスグループの農業担当者が協力しており、農産物生産者のビジネスチャンスの拡大と、とくしまマルシェの新鮮さの維持・拡大をサポートしています。

今年7月には京王百貨店新宿店の食料品売り場での「とくしまマルシェ」開催も決定しており、徳島県と首都圏との交流の活性化につなげていきたいと考えております。



4. 主な数値実績

本計画における主な数値実績は以下の通りとなっております。

項目	数 値 実 績
経営改善支援取組み率	28.5% (経営改善支援取組み先数1,097 / 期初債務者数3,851) いずれも正常先を除いています
再生計画策定率	85.1% (再生計画策定先数933 / 経営改善支援取組み先数1,097) いずれも正常先を除いています
ランクアップ率	1.7% (ランクアップ先数19 / 経営改善支援取組み先数1,097) いずれも正常先を除いています
創業・新事業支援融資実績	平成22年度中の融資実績 16件 / 185百万円
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の残高	平成23年3月末 融資残高 「あわぎん成長基盤強化ファンド」 594件 / 306億円 「あわぎん中小企業応援ファンド」 1,720件 / 698億円
中小企業等貸出金比率	90.05% 当行は同比率で85%以上を維持することを目標としています。

以 上